

二〇一四年度 鷗友学園女子中学校入学試験 国語3次 解答例と配点

㊦ (小計60点)

問一 (12点) 医術や本草学を学びに鳴滝塾に集まる塾生たちは、本来出島への出入りを許される立場ではないが、奉行所はそ

れらの塾生が稽古通詞や見習通詞を名乗って出島門鑑を手に入れていることに気づきながら、見逃していること。

問二 (10点) 菓草園は先生が阿蘭陀式で作らせたものだという塾生たちの思いこみを、先生に仕える日本人の園丁が一人で作

り上げたものだと正した。

問三 (10点) それぞれが諸藩の訛りを持っているので、明日葉の本当の名前についての誤解が生じている。

問四 (12点) 熊吉の心の底には、今まで覚えたがいったい人に話さないでいた蘭語を、使ってみたくて仕方がないという思い

があるということ。

問五 (16点) 園丁風情の自分が蘭語を使ってしまった申し訳なさを隠すため、みんなに合わせて笑ったが、笑えば笑うほど自

分で自分の蘭語への情熱を否定することになってしまい、悲しい気持ちになっているということ。

㊧ (小計30点)

問一 (14点) 自然を保護するためには炭素税や規制によって二酸化炭素の排出を抑え、温暖化を防がなければならないが、そ

うすると産業やビジネスにとつては経済的な負担が大きくなり、発展がじゃまされてしまうから。

問二 (16点) 現代の漁業には、公海という共有地で行われるものがある。その場合、水産資源が枯渇してしまうとわかっ

ても、自分だけが先に獲るのをやめると損をするので、どこの国も獲り続けることになるから。

㊨ (小計10点)

- (2点×5)
- (1)簡潔
  - (2)深長
  - (3)折半
  - (4)退治
  - (5)祝賀

問題本文は、著作権の関係で本日は配布しません。

なお、出典は次の通りです。

朝井まかて『先生のお庭番』

伊勢武史『学んでみると生態学はおもしろい』